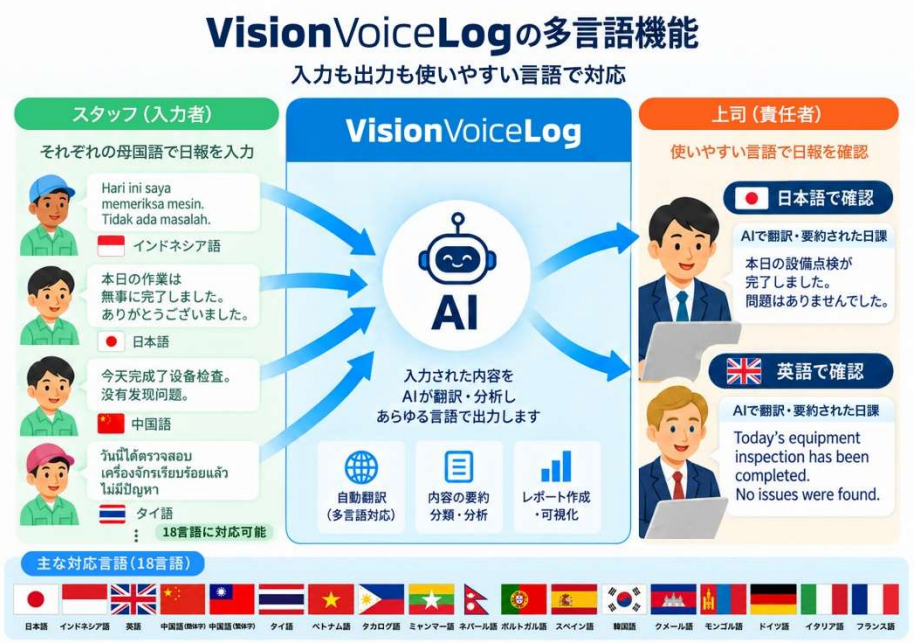
報道関係者各位
VisionVoice 株式会社

PRESS RELEASE
2026 年 11 月 11 日

VisionVoiceLog「多言語機能」スタート
エンケイ株式会社で中国語・インドネシア語による本格運用
―言語の壁を越え「現場の声」を組織の力へ―

VisionVoice（ヴィジョンボイス）株式会社（代表取締役 社長兼 CEO：飯田利男、以下「VisionVoice」および「当社」）は、AI 日報・分析システム「VisionVoiceLog（ヴィジョンボイスログ）」に、新たに多言語機能を追加したことをお知らせします。

これまで VisionVoiceLog への入力は日本語を前提としていましたが、多言語機能により、外国籍の社員が母国語で日々の業務報告や気づき・悩みなどを入力し、管理者や上司はその内容を自身の母国語で確認することが可能となります。すでに VisionVoiceLog を正式導入している自動車部品メーカーのエンケイ株式会社（代表取締役社長：三浦信）において、中国語・インドネシア語での本格運用を開始。実際の職場環境で活用いただき、好評を得ています。



上司は、VisionVoiceLog に入力された内容を、自分自身の母国語で確認できます。これにより、言語の違いによるコミュニケーションの壁を軽減し、円滑な意思疎通をサポート。日々の業務報告だけでなく、スタッフが感じている課題や悩み、成長の実感なども把握できます。

「言葉の壁」によるコミュニケーションエラーを防ぐ

日本では外国人材の活躍が広がる一方、現場では、言語の違いがコミュニケーション上の課題となるケースがあります。特に、業務報告や日々のやり取りにおいて、日本語で気持ちや考えを十分に表現できず、業務上の気づきや悩みが伝わりにくくなったりすることがあります。
VisionVoiceLog では、外国籍の社員が自身の母国語で入力できる環境を整えることで、一人ひとりの「声」をより自然な形で収集。言語の違いによる認識のずれを軽減し、円滑なコミュニケーションと、一人ひとりに寄り添った適切なフォローにつなげることを目指します。



VisionVoiceLog は、AIが入力内容を整理し、一人ひとりに合わせたアドバイスを、入力した言語で提供します。音声入力にも対応しており、いつでも気軽に記録することができます。

エンケイ株式会社で中国語・インドネシア語のテスト運用を経て本格導入

すでに VisionVoiceLog を正式採用しているエンケイ株式会社では、2026 年 8 月より、中国籍・インドネシア籍の社員を対象に、それぞれの母国語で日報を入力する運用を開始しました。
外国籍の社員にとって負担となりやすい日本語での会話や文章作成を必要とせず、日々の業務で感じたことや気づきを母国語で入力できるため、現場の声を把握しやすくなります。

エンケイ株式会社 業務統括本部 人事 武田眞知 係長　コメント
当社ではさまざまな国籍の社員が働いています。今回、外国籍の社員に多言語機能を使ってもらったところ、業務報告や考えを、以前よりスムーズに伝えられるようになったという声が寄せられました。一方、管理者側では日本語で入力内容を確認できるため、社員の声を把握しやすくなりました。外国籍の社員とのコミュニケーションを支える仕組みとして、可能性を感じています。

エンケイ株式会社 OEM 営業統括本部　アーマド チャイルディン氏　コメント
VisionVoiceLog は簡単な文章を入力するだけで内容を整理し、自分では気づかなかったアドバイスをくれるので、とても助かっています。毎日の仕事を振り返りながら、新しい気づきを得られるところが気に入っています。日本語で考えを伝えることには難しさを感じることもありますが、普段使っている母国語で入力できるので、ありがたい機能だと思います。

VisionVoice 株式会社 飯田利男 代表取締役 社長兼 CEO コメント

VisionVoiceLog は、社員一人ひとりの「声」を組織の資産へと変えていくことを目指して開発したサービスです。そのためには、社員が言語に関わらず、自分の考えや気づきを自然に伝えられる環境が重要です。今回の多言語機能によって、外国籍の社員の方々の声もより的確に把握できるようになり、現場とマネジメントをつなぐ仕組みとして、活用の幅がさらに広がると考えています。

VisionVoiceLog について

VisionVoiceLog は、企業の人的資本経営を支える AI 日報・分析システムです。スマホと PC によるメモ書きや音声入力を通じて、社員の日々の気づきや悩み、顧客の声を効率的に収集。AI が客観的に分析し、入力者に寄り添ったチェックポイントやアドバイスを提供しながら、組織課題や強みを可視化します。さらに、現場の課題を管理職や経営層にわかりやすく伝え、人的資本経営の高度化と離職率の改善、業績向上へつなげます。2026 年 3 月の事業開始以来、すでに複数の企業でテスト・本格導入されており、高い評価をいただいています。また、今回より多言語入力にも対応し、外国籍の社員が母国語で入力した内容を、管理者側では自身の母国語で確認することができます。



VisionVoice 株式会社について

VisionVoice は、「現場の声」と「トップの意思」をつなぐ統合型コンサルティングサービスを展開しています。AI による情報収集・分析と、編集者、データサイエンティスト、経営コンサルタントなど各分野の専門家の知見を組み合わせ、企業の強みや課題を可視化。分析結果を「伝わる言葉」と「実行可能な戦略」へと高め、持続的な成長と変化に強い組織づくりを支援します。現在は VisionVoiceLog を主軸に、TopVoice、ForecastLog の 3 サービスを提供しています。



▼会社概要

VisionVoice 株式会社（ヴィジョンボイスカブシキガイシャ ）
設立：2026 年 3 月
本社：千葉県浦安市日の出
東京オフィス：東京都港区海岸
代表者：代表取締役 社長兼 CEO 飯田 利男
社員数：7 名（2026 年 11 月時点）
URL： https://www.visionvoice.co.jp/

▼本件に関するお問い合わせ

VisionVoice 株式会社 広報担当
Mail：pr@visionvoice.co.jp
Tel：03-6822-4666